



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 ニチ八株式会社  
 コード番号 7943 URL <http://www.nichiha.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 龍夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 殿井 一史

TEL 052-220-5116

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	27,420	0.5	2,618	7.1	2,708	27.7	1,901	45.7
29年3月期第1四半期	27,550	7.5	2,445	95.0	2,121	59.8	1,304	39.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,906百万円 (152.0%) 29年3月期第1四半期 756百万円 (35.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	51.42	51.33
29年3月期第1四半期	35.30	35.24

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	121,886	71,545	59.2	1,949.98
29年3月期	126,470	70,777	56.4	1,929.85

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 72,100百万円 29年3月期 71,350百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		21.00		31.00	52.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		27.50		27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,600	1.0	6,500	5.0	6,600	12.3	4,500	9.7	121.71
通期	119,000	0.7	13,800	7.5	14,000	6.7	10,000	4.2	270.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	37,324,264 株	29年3月期	37,324,264 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	349,129 株	29年3月期	352,142 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	36,973,641 株	29年3月期1Q	36,961,937 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや鉱工業生産の増加などにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

住宅産業におきましても、低金利で推移する住宅ローンや安定した雇用所得環境に支えられ、新設住宅着工戸数は堅調に推移いたしました。

これに伴い、当社グループの主力製品である窯業系外装材の当第1四半期における業界全体の国内販売数量は、前年同期に比し4.3%（JIS規格の改正に伴い平成21年度よりJIS規格対象外となった12mm厚製品を含む従来基準）の増加となりました。

このような市場環境の下、当社グループは、引き続き耐候性・メンテナンスコストなどの面で優れた新世代外装材「Fu-ge（フュージェ）」などの顧客ニーズに沿った高付加価値商品のアピールに努めるとともに、各種販売施策を講じて積極的な拡販を図りました。また、公共施設・商業施設などの非住宅市場向けの新商品「COOL（クール）」の投入を始めとした販売戦略の強化や成長を続けている米国を始めとする海外マーケットの開拓を図るとともに、各種合理化や生産性向上によるコスト削減にも注力いたしました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

（金額単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	
			金額	率（%）
売上高	27,550	27,420	△129	△0.5
営業利益	2,445	2,618	172	7.1
経常利益	2,121	2,708	587	27.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,304	1,901	596	45.7

売上高につきましては、国内事業において、主力の窯業系外装材が高付加価値商品の拡販などにより増収となったものの、米国窯業系外装材事業が商流再編の過渡期にあたり一時的に減収となったことから、全体の売上高は274億20百万円と前年同期比1億29百万円（0.5%）の微減収となりました。

損益につきましては、国内外装材事業が増収と合理化効果などにより増益となったほか、海外窯業系外装材事業は減収分を利益率改善で吸収し増益を維持したことから、営業利益は26億18百万円と前年同期比1億72百万円（7.1%）の増益、経常利益は前年同期に計上した為替差損が大幅に減少したことなどから27億8百万円と同5億87百万円（27.7%）の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、加えて、前年同期に計上した減損損失がなくなったこともあり、19億1百万円と同5億96百万円（45.7%）の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## 外装材事業

売上面では、前記のとおり、国内外装材事業が増収となったものの、米国窯業系外装材事業が減収となったことから、売上高は252億98百万円と前年同期比2億25百万円（0.9%）の微減収となりました。

また、損益面では、前記のとおり、国内外装材事業の増収に伴う増益や合理化効果などにより、セグメント利益（営業利益）は33億91百万円と前年同期比3億55百万円（11.7%）の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比し純資産が7億67百万円増加し、総資産が45億84百万円減少した結果、自己資本比率は59.2%と2.8ポイントの増加となりました。

増減の主なもの、流動資産では商品及び製品が9億51百万円増加した一方で、現金及び預金が33億96百万円、受取手形及び売掛金が15億9百万円それぞれ減少したことなどにより、流動資産全体で39億53百万円減少しております。また、固定資産では有形固定資産が9億64百万円減少したことなどにより、固定資産全体で6億31百万円減少しております。

流動負債では未払法人税等が18億52百万円、賞与引当金が7億86百万円それぞれ減少しており、固定負債では長期借入金が10億36百万円減少していることなどから、負債合計は53億52百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後の動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、適時に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,854	23,458
受取手形及び売掛金	27,440	25,930
商品及び製品	9,250	10,202
仕掛品	1,722	2,163
原材料及び貯蔵品	2,735	2,811
繰延税金資産	1,292	932
その他	914	763
貸倒引当金	△40	△46
流動資産合計	70,170	66,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,648	13,344
機械装置及び運搬具(純額)	11,723	11,077
工具、器具及び備品(純額)	479	482
土地	20,380	20,377
リース資産(純額)	314	273
建設仮勘定	141	168
有形固定資産合計	46,687	45,723
無形固定資産		
リース資産	10	22
ソフトウェア	1,032	1,856
その他	1,135	240
無形固定資産合計	2,178	2,119
投資その他の資産		
投資有価証券	5,275	5,872
退職給付に係る資産	230	227
繰延税金資産	459	284
その他	1,495	1,468
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	7,434	7,826
固定資産合計	56,300	55,669
資産合計	126,470	121,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,068	15,093
短期借入金	5,318	5,111
リース債務	140	138
未払法人税等	2,308	455
賞与引当金	1,330	544
役員賞与引当金	108	25
製品保証引当金	845	849
その他	11,618	10,216
流動負債合計	36,739	32,433
固定負債		
長期借入金	15,033	13,996
リース債務	211	181
繰延税金負債	590	585
退職給付に係る負債	1,509	1,542
役員退職慰労引当金	145	142
製品保証引当金	1,279	1,272
その他	185	185
固定負債合計	18,954	17,907
負債合計	55,693	50,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,136	8,136
資本剰余金	10,925	10,925
利益剰余金	50,787	51,544
自己株式	△325	△323
株主資本合計	69,523	70,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,006	2,425
為替換算調整勘定	395	△52
退職給付に係る調整累計額	△575	△554
その他の包括利益累計額合計	1,826	1,817
新株予約権	75	78
非支配株主持分	△648	△634
純資産合計	70,777	71,545
負債純資産合計	126,470	121,886

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	27,550	27,420
売上原価	16,915	16,588
売上総利益	10,634	10,831
販売費及び一般管理費	8,188	8,213
営業利益	2,445	2,618
営業外収益		
受取利息	7	12
受取配当金	6	13
不動産賃貸料	22	22
受取保険金	0	75
その他	19	19
営業外収益合計	56	142
営業外費用		
支払利息	54	42
為替差損	318	7
その他	8	3
営業外費用合計	380	53
経常利益	2,121	2,708
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	13	36
減損損失	158	—
特別損失合計	171	36
税金等調整前四半期純利益	1,950	2,673
法人税、住民税及び事業税	237	415
法人税等調整額	402	340
法人税等合計	640	755
四半期純利益	1,310	1,917
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,304	1,901
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	16
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	419
為替換算調整勘定	△446	△450
退職給付に係る調整額	30	20
その他の包括利益合計	△554	△11
四半期包括利益	756	1,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	752	1,892
非支配株主に係る四半期包括利益	4	14



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,308	2,241	27,550	—	27,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	214	526	740	△740	—
計	25,523	2,767	28,290	△740	27,550
セグメント利益	3,036	9	3,045	△600	2,445

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△612百万円及びその他の調整額12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,085	2,334	27,420	—	27,420
セグメント間の内部売上高 又は振替高	212	567	779	△779	—
計	25,298	2,901	28,199	△779	27,420
セグメント利益又は損失(△)	3,391	△13	3,377	△759	2,618

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△777百万円及びその他の調整額18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。